

2019年12月19日

「ホワイト物流」推進運動 自主行動宣言の提出

塩野義製薬株式会社（本社：大阪市中央区、代表取締役社長：手代木 功、以下「塩野義製薬」）は、国土交通省・経済産業省・農林水産省が推進する「ホワイト物流」推進運動の趣旨に賛同し、12月4日に自主行動宣言を提出したことをお知らせいたします。

「ホワイト物流」推進運動とは、深刻化が続くトラック運転者不足に対応し、国民生活や産業活動に必要な物流を安定的に確保するとともに、経済の成長に寄与することを目的に、トラック輸送の生産性の向上、物流の効率化、女性や60代以上の運転者等も働きやすい「よりホワイト」な労働環境の実現に取り組む運動です*。

塩野義製薬およびグループ各社は、以下の取組項目・取組内容を今後行うことでホワイト物流実現に向けて貢献していきます。

取組項目	取組内容
物流の改善提案と協力	取引先や物流事業者から、荷待ち時間や運転者の手作業での荷卸しの削減、付帯作業の合理化等について要請があった場合は、真摯に協議に応じるとともに、自らも積極的に提案します。
パレット等の活用	パレット、カゴ台車、折りたたみコンテナ、通い箱等を活用し、荷役時間を削減します。
リードタイムの延長	トラック運転者が適切に休憩を取りつつ運行することが可能となるように、発荷主としての出荷予定時刻を厳守します。 着荷主として幅を持たせた到着時刻を認めることなどにより十分なリードタイムを確保します。
発注量の平準化	荷待ち時間を短縮するとともに、運行効率を向上させるため、曜日波動や月波動などの繁閑差を平準化します。
物流システムや資機材の標準化	取引先や物流事業者から、データ・システムの仕様やパレットの規格等の標準化について要請があった場合は、真摯に協議に応じるとともに、自らも積極的に提案します。
異常気象時等の運行の中止・中断等	台風、豪雨、豪雪等の異常気象が発生した際やその発生が見込まれる際には、無理な運送依頼を行いません。また、運転者の安全を確保するため、運行の中止・中断等が必要と物流事業者が判断した場合は、その判断を尊重します。

塩野義製薬は、基本方針である「常に人々の健康を守るために必要な最もよい薬を提供する」ことを実現するために企業活動を行っています。医薬品の物流を担う塩野義製薬・シオノギファーマおよび、シオノギヘルスケアは「ホワイト物流」推進運動を行うことで、引き続き製品の安定供給・品質確保に努めるとともに、経済の安定的な成長に貢献してまいります。

以上

【お問合せ先】 塩野義製薬株式会社 広報部 TEL：06-6209-7885

*「ホワイト物流」推進運動のご案内と参加のお願い

<https://white-logistics-movement.jp/wp-content/themes/white-logistics/docs/pamphlet.pdf>